

平成22年度一般会計補正予算説明資料

7 款 商工費

2 項 工鉦業費

2 目 中小企業振興費

市場開拓課（内線：7832）

（単位：千円）

| 事業名 | 補正前 | 補正 | 計 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|---------------|---|-------|--------|---------------|-----|-----|-------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起 債 | その他 | 一般財源 | |
| 弓浜鉦産地維持緊急対策事業 | 5,812 | 4,050 | 9,862 | | | | 4,050 | |
| トータルコスト | 11,460 | 4,050 | 15,510 | （補正に係る主な業務内容） | | | | |
| 従事する職員数 | 0.7人 | 0人 | 0.7人 | 補助金支給業務 | | | | |
| 工程表の政策目標（指標） | 伝統工芸品の後継者育成：弓浜鉦等の伝統工芸品の振興を図るため、後継者の育成を行う。 | | | | | | | |

説明

1 事業の目的・概要

昭和50年9月に国の伝統的工芸品の指定を受けた「弓浜鉦」が事業者の減少、従事者の高齢化等により産地の存続が危惧される状況にあることから、県、地元市（米子市、境港市）が支援し、鳥取県弓浜鉦協同組合（理事長 田中博文）が主体となって、次代の後継者を養成するための研修を実施している。（研修期間：H19.9～H22.8、研修生3名）

研修終了後、研修生が早期に起業し、独立できるよう支援を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

| 支 援 内 容 | 補助率 | 補助金上限額 （一人あたり） | 予算額 |
|--|-----|------------------------------|-------|
| 【設備投資助成】 研修修了後、1年以内に弓浜鉦を業として行うため、必要な機械装置・工具機具購入費・設備導入に関わる構築物の工事費及び作業所等の新築、改装に対し助成 | 1/2 | 1,000 (2,000×1/2×3名) | 3,000 |
| 【作業所等家賃助成】 研修修了後、1年以内に作業所、店舗、事務所等を賃貸する場合に、家賃の助成を行う。（最長1年間） | 1/2 | 月額 50 (100×1/2×7月 ×3名) | 1,050 |

※必要な場合、残り5ヶ月は次年度予算化

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成19年度より、県、米子市、境港市が支援して、鳥取県弓浜鉦協同組合が主体となって後継者人材育成を実施。
- 更なる人材育成を行うべく、第2期の研修生を募集し、本年9月から研修を実施予定。（研修期間：H22.9.1～H25.8.31 定員：3名）
- 第1期研修生3名が円滑に起業、独立できるように支援を行うことが後継者育成事業の成果を着実にし、産地の維持さらには、第2期研修生の研修の取り組みを円滑に進める上で必要。
- 研修終了者が弓浜鉦事業者として継続できるよう、販路開拓など収入確保の支援は市町村が実施する。